

II 離床を行う上での基礎知識

II-20. ドレーン・チューブ類

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□ II-20.1 胸腔ドレーン	□ II-20.1.1 胸腔ドレーンについて理解している	□ 胸腔ドレーン挿入の目的が説明できる	R-35 急性期2 完全2 P80		○
		□ 生理的胸腔内圧の正常値が説明できる	完全2 P80		○
	□ II-20.1.2 回路の仕組みについて理解している	□ 回路の仕組みが説明できる	R-35 急性期2 完全2 P80-81		◇
		□ 胸腔ドレーン挿入時の観察ポイントを3つ以上挙げられる	R-35 急性期2 完全2 P80-81		◇
		□ アラームが鳴った場合の対処法について説明できる			☆
		□ 排液が流れない場合の対処法について説明できる	完全2 P81		☆
		□ 排液バッグを倒してしまった場合の対処法について説明できる	完全2 P81		☆
		□ ドレーンが抜けてしまった場合の対処法について説明できる			☆
		□ 胸腔ドレーン挿入患者における離床のリスクについて説明できる			☆
□ II-20.2 経皮的胆道ドレーン	□ II-20.2.1 経皮的胆道ドレーンについて理解している	□ 経皮的胆道ドレーン挿入の目的が説明できる	R-35 急性期2 完全2 P82-83		○
		□ 経皮的胆道ドレーン挿入時の観察ポイントを3つ以上挙げられる	R-35 急性期2 完全2 P82-83		◇
		□ 痛みが強い場合の対処法について説明できる	完全2 P83		☆
		□ 経皮的胆道ドレーン挿入患者における離床のリスクについて説明できる	完全2 P83		☆
□ II-20.3 脳室ドレーン	□ II-20.3.1 脳室ドレーンについて理解している	□ 脳室ドレーン挿入の目的について説明できる	R-18 脳卒中 脳ガイド P181		○
		□ 脳室ドレーン挿入の目的について説明できる	脳ガイド P181		○
		□ 硬膜外・皮下ドレーン挿入の目的について説明できる	脳ガイド P181		◇
		□ 硬膜下ドレーン挿入の目的について説明できる			◇
		□ 正常な頭蓋内圧について説明できる	脳ガイド P18		◇
	□ II-20.3.2 脳室ドレーンの仕組みについて理解している	□ 脳室ドレーン回路の仕組みが説明できる	R-18 脳卒中 脳ガイド P181		◇

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□II-20.3.3 脳室ドレーンの管理について理解している	□脳室ドレーン挿入時の観察ポイントを3つ以上挙げられる	R-18 脳卒中 脳ガイド P181		☆
		□脳室ドレーン挿入患者における離床のリスクについて説明できる	脳ガイド P181		☆
		□離床前にドレーンをクランプする順番について説明できる	脳ガイド P181		☆
		□離床後にドレーンをクランプを開放する順番について説明できる	脳ガイド P181		☆
□II-20.4 心嚢・縦隔ドレーン	□II-20.4.1 心嚢・縦隔ドレーンについて理解している	□心嚢・縦隔ドレーン挿入の目的が説明できる	R-35 急性期2 完全2 P82		○
	□II-20.4.2 心嚢・縦隔ドレーンの管理について理解している	□心嚢・縦隔ドレーン挿入時の観察ポイントを3つ以上挙げられる	R-35 急性期2 完全2 P82		◇
		□心嚢・縦隔ドレーン挿入患者における離床のリスクについて説明できる	完全2 P82		☆
□II-20.5 経鼻胃チューブ	□II-20.5.1 経鼻胃チューブについて理解している	□経鼻胃チューブ挿入の目的が説明できる	R-35 急性期2 完全2 P84		○
	□II-20.5.2 経鼻胃チューブ回路の仕組みについて理解している	□経鼻胃チューブ回路の仕組みと固定方法が説明できる	R-35 急性期2 完全2 P84		◇
	□II-20.5.3 経鼻胃チューブの管理について理解している	□経鼻胃チューブ挿入時の観察ポイントを3つ以上挙げられる	完全2 P84		◇
		□嘔気・吃逆を訴える場合の対応について説明できる	完全2 P84		☆
		□経鼻胃チューブが抜けた場合の対応について説明できる	完全2 P84		☆
		□経鼻胃チューブ挿入患者における離床のリスクについて説明できる	完全2 P84		☆
□II-20.6 イレウス管	□II-20.6.1 イレウス管について理解している	□イレウス管挿入の目的について説明できる			○
	□II-20.6.2 イレウス管の回路の仕組みについて理解している	□イレウス管の回路の仕組みと固定方法について説明できる			○
	□II-20.6.3 イレウス管の管理について理解している	□イレウス管挿入時の観察ポイントを3つ以上挙げられる			◇
		□イレウス管挿入患者における離床のリスクについて説明できる			☆

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□Ⅱ-20.7 膀胱留置カテーテル	□Ⅱ-20.7.1 膀胱留置カテーテルについて理解している	□膀胱留置カテーテル挿入の目的について説明できる	R-35 急性期2 完全2 P86		○
	□Ⅱ-20.7.2 膀胱留置カテーテルの回路の仕組みについて理解している	□膀胱留置カテーテルの回路の仕組みについて説明できる	R-35 急性期2 完全2 P86		◇
	□Ⅱ-20.7.3 膀胱留置カテーテルの管理について理解している	□膀胱留置カテーテル挿入時の観察ポイントについて説明できる	R-35 急性期2 完全2 P86		◇
		□膀胱留置カテーテル挿入患者における離床のリスクについて説明できる	完全2 P86		☆
□Ⅱ-20.8 末梢静脈カテーテル	□Ⅱ-20.8.1 末梢静脈カテーテルについて理解している	□末梢静脈カテーテル挿入の目的について説明できる	R-35 急性期2 完全2 P76		○
		□末梢静脈圧の正常値について説明できる	完全2 P76		○
	□Ⅱ-20.8.2 末梢静脈カテーテルの回路の仕組みについて理解している	□チャンパー（点滴筒）について説明できる	R-35 急性期2 完全2 P76		○
		□ピン針について説明できる			◇
		□クレンメについて説明できる	完全2 P76		◇
		□三方活栓について説明できる			◇
	□Ⅱ-20.8.3 末梢静脈カテーテルの管理について理解している	□静脈針とラインの固定方法について説明できる	R-35 急性期2		☆
		□末梢静脈カテーテル挿入時の回路の観察ポイントを3つ以上挙げられる	完全2 P76		☆
		□末梢静脈カテーテルの静脈針挿入部の観察ポイントが3つ以上挙げられる	完全2 P76		☆
		□末梢静脈カテーテル挿入患者における離床のリスクについて説明できる	完全2 P76		☆
□Ⅱ-20.9 末梢動脈カテーテル（Aライン）	□Ⅱ-20.9.1 末梢動脈カテーテル（Aライン）について理解している	□末梢動脈カテーテル（Aライン）挿入の目的が説明できる	R-35 急性期2 完全2 P77		○
	□Ⅱ-20.9.2 末梢動脈カテーテル（Aライン）の回路の仕組みについて理解している	□加圧バックについて説明できる	R-35 急性期2 完全2 P77		◇
		□トランスデューサーについて説明できる	完全2 P77		◇
		□末梢静脈カテーテルのラインと末梢動脈ライン（Aライン）のカテーテルの違いについて説明できる	完全2 P76-77		◇
		□モニターについて説明できる	完全2 P77		◇

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□II-20.9.3 末梢動脈カテーテル（Aライン）の管理について理解している	□末梢動脈カテーテル（Aライン）挿入時の回路の観察ポイントを3つ以上挙げられる	R-35 急性期2 完全2 P76-77		☆
		□末梢静脈カテーテル挿入患者における離床のリスクについて説明できる	完全2 P76		☆
□II-20.10 中心静脈カテーテル	□II-20.10.1 中心静脈カテーテルについて理解している	□中心静脈カテーテル挿入の目的について説明できる	R-35 急性期2 完全2 P78		○
		□中心静脈圧の正常値について説明できる	完全2 P93		○
	□II-20.10.2 中心静脈カテーテルの回路の仕組みについて理解している	□中心静脈カテーテルが挿入される部位（静脈）について説明できる	R-35 急性期2 完全2 P78		◇
	□II-20.10.3 輸液ポンプについて理解している	□輸液ポンプを使用する目的について説明できる	R-35 急性期2 完全2 P79		◇
		□輸液ポンプのアラームについて説明できる[アラーム原因、その対処法]	完全2 P79		◇
	□II-20.10.4 中心静脈カテーテルの管理について理解している	□中心静脈カテーテル挿入時の観察ポイントを3つ以上挙げられる	R-35 急性期2 完全2 P78		☆
		□中心静脈カテーテル挿入患者における離床のリスクについて説明できる	完全2 P78		☆
□II-20.11 S-Gカテーテル	□II-20.11.1 S-Gカテーテルについて理解している	□S-Gカテーテル挿入の目的が説明できる	R-35 急性期2 完全2 P93		○
	□II-20.11.2 S-Gカテーテルの回路の仕組みについて理解している	□挿入部位からの距離と反映される圧波形について説明できる	R-35 急性期2 完全2 P93		○
	□II-20.11.3 S-Gカテーテルから得られる指標について理解している	□右心房圧（RAP）の正常値について説明できる	R-35 急性期2		◇
		□肺動脈圧（PAP）の正常値について説明できる			◇
		□肺動脈楔入圧（PCWP）の正常値について説明できる			◇
		□心係数（CI）の正常値について説明できる			◇
		□混合静脈血酸素飽和度（SvO ₂ ）の正常値について説明できる			◇
	□II-20.11.4 S-Gカテーテルの管理について理解している	□S-Gカテーテル挿入時の回路の観察ポイントを3つ以上挙げられる	R-35 急性期2		☆

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
		□ S-Gカテーテル挿入患者における離床のリスクについて説明できる			☆
□ II-20.12 胃瘻	□ II-20.12.1 胃瘻について理解している	□ 胃瘻増設の目的について説明できる	完全2 P85		○
	□ II-20.12.2 胃瘻の回路の仕組みについて理解している	□ 胃瘻カテーテルの種類を2つ以上挙げられる	完全2 P85		○
	□ II-20.12.3 胃瘻の管理について理解している	□ 胃瘻カテーテル固定法の種類による交換時期の目安について説明できる			◇
		□ 胃瘻増設後の観察ポイントを3つ以上挙げられる	完全2 P85		☆
		□ 胃瘻増設患者における離床のリスクについて説明できる	完全2 P85		☆

大項目	中項目	小項目	確認印
／ 12	／ 36	／ 78	

中項目の点数は P102 に転記して下さい